

運輸交通部会長報告

会議名 秋田県建設部と運輸交通部会との意見交換会

日時 2022年10月7日（金）16：00～17：30

場所 秋田商工会議所 7階 ホール80

出席者 ◆秋田県建設部 田中部長、笠井次長、伊藤参事兼港湾空港課長、
伊勢道路課長

◆辻副会頭、正副部会長・部会員16名、水澤専務理事

内容 (1) 懇談

テーマ「秋田県建設行政の最近の話題」

講演者 秋田県建設部 部長 田中 倫英 氏

秋田県建設部 次長 笠井 良真 氏

(2) 意見交換

テーマ「地域活性化に向けた施策展開について」

- ・ 8月の豪雨災害により県北部を中心に記録的大雨となり、北秋田と仙北を結ぶ大動脈である国道105号「大覚野峠地区」が土砂崩れで全面通行止めとなった。幸い道路内側が平坦であり、仮設道路を構築でき1週間で全面通行止めは解除された。
- ・ 2013年の豪雨をうけた三種川の河川改修事業を実施したことで、今回の豪雨と比較した際、浸水面積が238ha→130ha、床下浸水戸数が49戸→9戸へ減少し、被害を大きく減少させることが出来た。
- ・ 国道7号が冠水により「今泉交差点－大堤交差点間」8kmが通行止めとなってしまったが、日沿道「鷹巣西道路－鷹巣IC」が開通していたことから本道路が代替ルートとして活用され、交通障害を回避することが出来た。
- ・ 秋田港アクセス道路は順調に工事が進捗している。道路の設計条件を、片道幅員を3.5mと設定し工事を進めている。

笠井次長 懇談内容 概要

- ・「男鹿市、潟上市及び秋田市沖」が9月30日に促進区域指定を受け、県内で5海域目となった。早ければ年内に事業者公募が開始される予定となっている。
- ・2022年5月に日本郵船(株)が秋田支店を開設し、2024年を目途に洋上風力発電の総合訓練センターを立ち上げ予定であり、経産省エネルギー庁の補助金の採択を受けている。今後、建設のみならず運用・メンテナンスと多くの人材が必要となるため、雇用の効果が得られると想定される。
- ・CNP形成計画の策定に向けて、秋田県CNP協議会を立ち上げるとともに、各港ごとの部会も立ち上げて検討を進めていく。第1回目は10月19日に開催。各部会は11月と1月に開催後、2回目の協議会を2月に開催するスケジュールで考えている。
- ・国内クルーズの寄港が6隻実施されたものの、コロナ対策等により乗客定員の半数程度の実績であった。国内クルーズのみならず外航クルーズの受入が今後のポイントとなるため、国への要望としてガイドラインの策定などを挙げている。

1. 秋田港・本港地区臨港道路について

- ・セリオン周辺岸壁の老朽化対策及び埠頭用地拡張を計画しており、先月末に埋立て認可を受け、来週11日に免許を取得した後、整備に着手していく予定となっている。また、道路付替は埋立完了後の土地の利用状況を踏まえ、今後、必要性を精査していく。

2. 災害発生時対応の強化について

- ・飯島地区小型船だまりは、対象船舶の利用状況を踏まえ整備時期を検討していく。
- ・津波避難施設は、飯島地区・外港地区・向浜地区への整備を検討しており、今年度は飯島地区を先行して実施設計を進めている。

3. 新国道・野村交差点の渋滞緩和について

- ・本交差点の交通量調査を今年度実施し、その結果を踏まえ、対応の必要性を検討していく。
 - 寺内高野の坂の方向から山王十字路方面に向かう進行方向で、本交差点を通過した次の交差点で、右折可能であり危険箇所だと感じるため、安全対策を講じていただきたい。
 - 両交差点同様に交通量調査を実施予定であり検討する。

4. 秋田港アクセス道路の整備について

- ・今年度は、土地開発基金を活用した国道7号周辺の用地の先行取得のほか、港湾道路側の道路改良工事や県道久保秋田線を跨ぐ橋梁工事などに着手している。北インター側の田んぼの中は、道路形状が把握できる状況になってきている。

5. 外港地区入口交差点へのラウンドアバウト整備による安全対策強化について

- ・産業労働部が所管となり整備を進めている。
- ・6月に実施した貨物運送事業者に対する説明会では、ラウンドアバウト形式の交差点形状について了解を得たところである。
- ・産業労働部では、令和5年度に用地内の道路整備を南側を優先して着手する予定であり、その後ラウンドアバウト整備に向けて工事が進行していく。また、現在、詳細設計を行っており交差点形状を秋田臨港警察署と交差点協議を行っている模様である。
- ・交差点協議には、県港湾事務所の技術職員も同行し協議を進めている。

総括 辻副会頭

- ・ 県からは貴重な情報提供を受け、活発な意見交換が図られたことに感謝申し上げます。
- ・ 本意見交換を通して、秋田港アクセス道路の整備や秋田空港駐車場の利便性向上など、様々な取組みを進み好意的に捉えて頂いていることから、今後是非このような場を継続して頂きたい。
- ・ 秋田港アクセス道路の整備が進んでいくことで、洋上風力発電事業や秋田港の港湾物流などにとってもプラスに働き、更に重要物流道路指定を受けることでその利用度は高まると想定される。また、高速道路に関しても、秋田北ICから秋田南ICまでの4車線化が実現されることで利便性が高まるので、我々商工会議所としても要望活動等を継続していくので、県としても御理解の上、これからも後押し頂きたい。



【開催模様】